


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	あさのしたくをしよう
学年	小学校第1学年
目標	朝起きて、登校するまでにどのような支度をどのような順序で行わなくてはいけないか考える。
教材タイプ	カード(アンプラグド)
使用教材	「すぐできるプログラミング教材 すぐプロ」(株式会社 教育ネット)
環境	カードのみ 端末不使用
都道府県	愛媛県
実施校	久万高原町立久万小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<ol style="list-style-type: none">朝起きてから、学校に行くまでにすることを想起する。カードを配布して、自分が行う順番に並べる。グループで並べたカードの順番を発表し合い、感想を述べ合う。<ul style="list-style-type: none">朝起きてから登校するまでにすることや順番は、みんな同じではないことが明確になり、驚きとともに活発な意見交換が行われた。「朝ごはんを食べる」、「着替え」どちらを先に行うのかに子どもたちの話題が集中した。正解が出るわけではないが、それぞれに違いがあることを理解できた。担任が「ふくをきる」→「パジャマをぬぐ」の順番を提示すると児童は口々に「おかしい」と言い出した。まとめ<ul style="list-style-type: none">登校するまでにすることはたくさんあり、人によって違いがある。しかし、順番を入れ替えることができないものもある。 
成果と課題	<p>第1学年が朝の生活を見直すために共通のカードを使うことで、友達と行動を比較することができた。行動に順番が決まっているものと決まっていないものがあることを知った。</p> <p>朝の行動については、配慮を要する家庭がある。担任が把握して実践を行う必要がある。</p>